

クイズという程では無いが

JJ1SXA 池

大分前になりますが、著名な代議士の先生が、四国遍路に出かけてニュースになりましたが、今回は、四国霊場八十八箇所にかかわる問題です。

先ずは、寺は幾つある？・・・と聞いたら、何を馬鹿な、八十八だろうと答えが来ます、その通りですが、寺は、「テラ」という読み方と「ジ」という読み方が有ります。・・・寺を、・・・テラと読むのは幾つある？が問題。

問題2です、第1番の霊場は、徳島県にある「霊山寺」で、第88番の霊場は香川県にある「大窪寺」です、そこで問題、四国の各県には、それぞれ何箇所の霊場があるのでしょうか？

最後の問題は、霊場から霊場への移動(勿論徒歩)で、一番時間がかかるのは何番から何番で？どのくらいの時間がかかるのか？概算の距離はどのくらいか？

正解

八十八の寺で・・・テラと読むのは、第11番霊場の「藤井寺フジイデラ」一つだけで、他にも、第55番霊場の「南光坊ナンコウボウ」と第68番霊場の「神恵院ジンネイン」があって、寺(テラ)、坊(ボウ)、院(イン)が各一つ、残り八十五の寺は、全て、・・・ジ。

第1番～第23番が徳島県(23)、第24番～第39番が高知県(16)、第40番～第65番が愛媛県(26)、第66番～第88番が香川県(23)にあります。各県(旧国)に国分寺が、一つずつ、阿波に第15番、土佐に第29番、伊予に第59番、讃岐に第80番です。

(四国の旧国名は、徳島=阿波、高知=土佐、愛媛=伊予、香川=讃岐)

第37番霊場の「岩本寺」から、第38番霊場の「金剛福寺」への移動は、2日半の道程、距離は、約94.2kmです。

逆に、一番近い所では第68番霊場の「神恵院」と第69番霊場「観音寺」、同じ番地内にあります。(他にも、500m、800mという近距離に位置するものもあります)

お遍路さんの被る菅笠に書かれているのは、「同行二人・住所氏名」と、「迷故三界城・悟故十方空・本来無東西・何処有南北」・・・まようがゆえにさんかいはしろなり、さとりがゆえにじつぼうはくうなり、ほんらいとうざいなく、いずくんぞなんぼくあり。

この八十八箇所の霊場の他に、四国別格二十霊場というのも有ります。